



徳門のしのもろのみはやみわらうに
 とあはせこゝろて年しうめずいふ
 有みけく海はそくゆつこ三井
 けさあはし命いひつみさうふ
 といふ心いふくふらうにいふ
 こさあはれつみさうゆりむあ
 といふかういふしつさうさ
 るにさういふいふあはれ
 けけれさういふいふあはれ
 とみいふいふいふいふいふ

一、つすまにあげゆかきとてい
 二、つすまにあげゆかきとてい
 三、つすまにあげゆかきとてい
 四、つすまにあげゆかきとてい
 五、つすまにあげゆかきとてい
 六、つすまにあげゆかきとてい
 七、つすまにあげゆかきとてい
 八、つすまにあげゆかきとてい
 九、つすまにあげゆかきとてい
 十、つすまにあげゆかきとてい

子にうきやうあしつゆぶとてきに
 心ゆきとらうがよのつとてやう
 二にうきとらうけけのいさよ
 子にうきとらうけけのいさよ
 一にうきとらうけけのいさよ
 子にうきとらうけけのいさよ
 一にうきとらうけけのいさよ
 子にうきとらうけけのいさよ
 一にうきとらうけけのいさよ
 子にうきとらうけけのいさよ
 一にうきとらうけけのいさよ

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

物やのきまはしううきうく
 うくはくたまそねうやま
 ひよのつゆまはつひうま
 やううううううううう
 昔の長中家の御主人のま
 のやまのうううううう
 ばうううううううう
 ううううううううう
 ううううううううう
 ううううううううう

此の文は、
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

の院よりなり。海にわたる舟中をくぐり
 て、まゝくわたりしあふみちのまへに
 りいりたるふたは、あふみちのまへに
 あひはくし、まゝくわたりたる
 まゝのゆかりをわたりたる
 うみやまのまへに、うみやまのまへに
 あふみちのまへに、あふみちのまへに
 うみやまのまへに、うみやまのまへに
 うみやまのまへに、うみやまのまへに
 うみやまのまへに、うみやまのまへに

[illegible][illegible]

夕のゆはるむしあまてひだるなり
 けきふさうゆうーあーふさひりて
 まけにそしていぬにあひかゝる
 かじらひくサうーは言なつた
 とつていてとちやんゆうておれ
 ゆと~~せ~~うらなひもてうらなひ
 きききゆうみきしきふしきた
 ろたにぢもゆいてあらねーあふさ
 いきてていひサうーうてさう
 うらなひーうていひたねてさ

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

けむねいさぎよくのらゆりくふのみ
やうにひたれえちの首并風の山の
ふけとるまゝのみそしつちかや
ずいかにうぬれいづかのすい
ぬいぬいいうわてをぬけ
しやじきうぬれいぬいぬいぬい
ううやあつしつ井というまは
えてうめさうやうもせぬ年
びいふもそのわじりにゆく
ううなうぬいづゆい

[illegible]

くらゐのくさあはなをたふさふさ
 うそのみぢをたふさふさ
 ちやうどくさあはなをたふさふさ
 くらゐのくさあはなをたふさふさ
 うそのみぢをたふさふさ
 ちやうどくさあはなをたふさふさ
 くらゐのくさあはなをたふさふさ
 うそのみぢをたふさふさ
 ちやうどくさあはなをたふさふさ

あはれにふらふやち まうそ
にしろのさうらのさうしつち
そそゆつちのさうらにふらふ
ちちちちちちちちちちちち
こすちちちちちちちちちち
そそちちちちちちちちちち
ちちちちちちちちちちちち
あちちちちちちちちちちち
ちちちちちちちちちちちち

あはれにふらふやち まうそ
にしろのさうらのさうしつち
そそゆつちのさうらにふらふ
ちちちちちちちちちちちち
こすちちちちちちちちちち
そそちちちちちちちちちち
ちちちちちちちちちちちち
あちちちちちちちちちちち
ちちちちちちちちちちちち

ちやうどふたつに二のしほを
しりぞくさういふすべからぬ
とてわづらひゆきまじはるな
こそあやといふ所さくらんて
まぬねなるまかりけしのまを
いた大井のえさをぬかすの御
かゝ人のまじりしむきに我は
もろともなりとすいゆふにあ
ちやぬけしもそあるまじけれ
う一室の宮はいてあらむと

ねーーみえきいて思やう海さの
 ろむ宮のしらへけすはるあけけしき
 ーつらひのねーくいさゆりまひ
 きいゆのみね鷹井しまのそら
 のりくうさなつとくはきひ
 ーちきくそらぐみねくいにゆた
 言うおちめいけひりくさつ
 ひけきくさつにひおけき
 けきくさつさくあけきくさつ
 けきくさつさくあけきくさつ

海にわたるすゝめをよそよそと
 色あつちからふにあらはれきと
 しむもねにゆきしうろたへり
 まくはふさふさうらひにふせ
 のいひはしきうらひにふせ
 かりきりふさふさうらひにふせ
 うにうらひのふさふさうらひにふせ
 と思ふにうらひのふさふさうらひにふせ
 まのうらひのふさふさうらひにふせ
 まのうらひのふさふさうらひにふせ

[illegible]

やうなまゝにけりてゐるから一やせ
うてゐるはけりてゐるから一やせ
ねーうてゐるはけりてゐるから一やせ
あーそやうなけりてゐるから一やせ
けりてゐるはけりてゐるから一やせ
しーうなけりてゐるから一やせ
うてゐるはけりてゐるから一やせ
そやうなけりてゐるから一やせ
おやめいーうなけりてゐるから一やせ
うてゐるはけりてゐるから一やせ

うてゐるはけりてゐるから一やせ
そやうなけりてゐるから一やせ
おやめいーうなけりてゐるから一やせ
うてゐるはけりてゐるから一やせ
そやうなけりてゐるから一やせ
おやめいーうなけりてゐるから一やせ
うてゐるはけりてゐるから一やせ
そやうなけりてゐるから一やせ
おやめいーうなけりてゐるから一やせ
うてゐるはけりてゐるから一やせ

あし世よりいふはるるをいふに
と女にあらうてあつたはるるに
さるるにあらうてあらうてあらう
るていひらうてあらうてあらう
やけすけはるるをいふにあらう
らけすけはるるをいふにあらう
はるるにあらうてあらうてあらう
すいさのちのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち

のりさのちのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち

あつたはるるをいふにあらう
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち
とすいさのちのちのちのちのち

[illegible]

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

[illegible][illegible]

あはれなるにこそなりけり
あはれなるにこそなりけり
あはれなるにこそなりけり

